

令和6年第1回市議会定例会代表質問一覧表

1 日 時 令和6年3月11日(月) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|--------------|-----|-----------|
| (1) 新緑水クラブ | 30分 | (1 北川明夫) |
| (2) 市友会 | 30分 | (2 蔵満秀規) |
| (3) 公明党 | 30分 | (3 石丸喜久雄) |
| (4) 日本共産党議員団 | 30分 | (4 坂 ゆかり) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 北川明夫議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 令和6年度は、第7次総合計画を始め各種の長期計画が一斉にスタートし、市制55周年を迎えるとともに、任期4年目のまとめの一年になると思うので、改めて市政運営に対する市長の熱い思いを伺う	(1) 本市のこれまでの発展の歩みを振り返り、現状をどのように評価し、めざすべきまちの将来像をどのように描いているのか。また、まちづくりを牽引するトップリーダーとしての意気込みはどうか (2) 市制55周年関連事業は、全ての市民が郷土愛を育み、明日への希望と活力を得る機会になればと期待するが、どのように実施されるのか	
2 経済見通し・本市を取り巻く状況について	1 円安や原材料高が続く中、市内の活発な企業活動等に支えられ、市税収入は過去最高の当初予算額を計上できたが、本市には今後も数多くの大型事業が予定されており、中長期的な健全財政に留意が必要である。そこで、中長期財政見通し等を伺う	(1) 中長期財政見通しでは、高齢化の進行等による扶助費の増加や、大型事業の実施に伴う公債費と起債残高の上昇がポイントとなるが、どのように見込んでいるのか。また、予定される学校施設の建替え等や公共建築物保全事業の実施に備え、各基金の残高目標をどのように定めているのか	
3 子ども・子育てのまちづくりについて	1 本市の子ども・子育て支援策は、医療費助成を始め、妊娠・出産、育児・保育、健診・予防接種、障がい児福祉や放課後子どもプラン等々、いずれも高い水準であり、花田市政3年間でさらに充実が図られてきた。そこで、これらの周知・啓発方法とこども家庭センターのあり方について伺う	(1) 令和6年度には、保育料等の無償化を第2子まで拡大するなど、市独自の支援が拡充される予定だが、それらも含め本市の子ども・子育て支援の全体像を、今以上に分かりやすく周知・啓発を行う工夫が必要と思うがどうか (2) こども家庭センターへの機能一体化は、どのように行われるのか。また、一体化後も、支援窓口は3か所で活動することから、それらの連携強化はどのように図っていくのか	

	<p>2 子ども達のための小中学校の環境整備は計画的に進められており、令和6年度も学校トイレの洋式化を始め、空調機の設置や非構造部材の整備を実施する予定である。また、平洲小学校建替えの基本計画が子ども達等へのアンケートを行いながら策定中なので、それらの状況等について伺う</p>	<p>(1) これまでの小学校のトイレ洋式化及び中学校の特別教室と体育館の空調機設置事業の実施状況と事業効果はどのようなか。また、中学校体育館の空調機設置が完了した以降は、小学校体育館への設置を検討してはどうか</p> <p>(2) 平洲小学校の建替えは、未来の子ども達のための一大事業で、後続く学校の試金石でもあるが、検討状況はどのようなか。また、公民館や児童館等の複合化・集約化に関する検討についてはどうか</p>	
<p>4 環境・経済のまちづくりについて</p>	<p>1 令和5年9月に地球温暖化対策実行計画の区域施策編が策定され、策定済みの事務事業編と合わせて、本市のゼロカーボンシティ推進体制が整った。これからは市民や事業者、行政等が一体となり、カーボンニュートラルに向け行動するときである。そこで、今後の取組事業等を伺う</p>	<p>(1) 3月1日をゼロカーボンの日とするのは大賛成だが、市民や事業者等に広く浸透させるための啓発には、アイデアと戦略が重要だと思うがどうか</p> <p>(2) 約1億3千万円の予算で新規の補助事業や補助の拡大を計画しているが、その具体的内容と利用見込みはどのようなか</p> <p>(3) 令和6年度は公共施設の対策としてLED化等が計画されているが、どのような削減効果があるのか。また、今後の取組予定はどうか</p>	
	<p>2 本市の農業は、都市近郊型農業として、フキ、タマネギ、果樹、花卉・洋ランの生産が中心だが、地域特産物の出荷額はこの10年間で2/3に減少している。市は、農業者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加等に対し、持続的にきめ細かく支援策を講じてきているが、今後の魅力ある農業の振興策について伺う</p>	<p>(1) 農業の担い手や新規参入を増やすには、農業が魅力とやりがいのある職業にステップアップすることが大切なので、経営規模の拡大、農産物のブランド化や優良品種の開発等に資する更なる支援策が必要と思うがどうか</p> <p>(2) 農地の有効利用を図るには、遊休農地の発生を防止しながら、優良農地の確保と利用集積を促進する必要があるが、今回の農業振興地域整備計画の見直しは、どのような方針で行っていくのか</p>	

5 地域づくりについて	1 令和3年4月の社会福祉法改正により重層的支援体制整備が進められている。介護、障がい、子ども、生活困窮の各相談支援を包括し、伴走支援、多機関協働、アウトリーチ支援等につなげるとともに、参加支援や地域づくりと一体的に行う制度改正である。そこで、本市の取組状況等を伺う	(1) 令和3年度から実施している重層的支援体制整備事業について、これまでの成果と課題はどのようなか。また、今後、支援体制の充実強化を図るために、人材育成も含め、どのような方針で取り組んでいくのか	
	2 本市は、コミュニティを中心とした地域運営体制づくりを進めるため、緑陽、渡内、富木島ふれあい、加木屋の4コミュニティをモデル地区とし、地域住民や各種団体等が連携・協働したまちづくりを模索してきている。そこで、活動状況等を伺う	(1) コミュニティ中心の体制づくりを進める中、町内会・自治会の加入率低下に歯止めが掛からない状況なので、市から強力な支援策が必要ではないか (2) モデル地区の懇談会を通じて、どのような成果が生まれ、試行的に実施されている取組はあるのか。また、補助金等の統合化や(仮称)コミュニティ推進員制度の検討状況はどうか	
6 健康・生涯学習のまちづくりについて	1 10年前にめざした健康寿命を令和4年度に男女共に達成し、本市の健康づくり・生きがいづくりは、順調に進んでいる。一方で、フレイル予防を始め、生活習慣病やがん等の早期発見・重症化予防とともに、新興感染症への適切な対応力が必要と思うので、今後の取組について伺う	(1) 第3次健康増進計画の策定に向けて、推進項目の見直しの方向性はどうか。また、特定健診や歯周病・大腸がん検診等の受診率の向上策は、どのように盛り込むのか (2) 4年に及ぶコロナ対策の経験から、現行の新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しは検討しているのか。また、新型コロナウイルス感染症の医療費の公費負担とワクチン接種は、本年4月からどのように変わるのか	

	<p>2 創造の杜交流館の建設工事が本格化しており、令和7年5月に開館予定である。生涯学習、創造活動及び多様な交流の新たな拠点として、建物のデザイン性と合わせて注目を集め、市民の期待も徐々に高まっている。そこで、施設運営や利用促進策等について伺う</p>	<p>(1) 市民の生涯学習や創造活動の機会を広げるには、コーディネートできる指定管理者が必要だが、どのような方針で選定するのか。また、施設を活用したクリエイティブな人材の育成について、どのように考えているのか</p> <p>(2) 目玉の一つである歴史文化・情報発信コーナーは、展示内容や展示替えのタイミングが大切だと思うが、どのように対応していくのか</p> <p>(3) 短編映画の制作は、全国展開を前提とした先進的で魅力的な事業だと思うが、どのように開館への気運醸成に結びつけていくのか</p>	
<p>7 安心安全・都市基盤のまちづくりについて</p>	<p>1 能登半島地震から2月余になるが、被災地や避難住民は依然、厳しい状況下にあるので、引き続き国を挙げての応援体制が必要である。同時に本市でも、今回の地震災害の教訓を踏まえて、改めて本市の防災体制を点検し、平時からの減災対策を進めることが大切である。そこで、現状の課題と対策について伺う</p>	<p>(1) 今回の被災地の状況を見て、本市においても急ぎ対策強化が必要なことは何か</p> <p>(2) 地域強靱化計画のハード面では、住宅の耐震化率、防火水槽や雨水ポンプ場の耐震化率及び橋りょうの耐震補強の進捗状況はどのようなか。また、ソフト面では、避難行動要支援者の個別支援計画、感染症対応の避難所訓練や消防団員の充足率が急がれる課題だと思うが、現状と今後の対策はどうか</p> <p>(3) 防災ハンドブックには、3河川の外水氾濫予想図が掲載されているが、今回作成する内水についての浸水想定区域図との違いはどうか。また、その活用方法はどのようなか</p>	

	<p>2 持続可能な経済発展を維持しつつ、市民生活と福祉をさらに充実させるには、本市のポテンシャルを活かした都市基盤整備等の推進が大切である。そのためには、幹線道路整備や土地地区画整理事業等の進捗を図るとともに、新たな定住促進策が求められており、それらの状況等を伺う</p>	<p>(1) 太田川駅周辺土地地区画整理事業の換地処分に伴い、清算金の交付と徴収はどのような状況なのか。また、町名地番変更に伴い、関係権利者や住民等の事務手続きが相当量に及ぶが、行政はどのような支援を講じていくのか</p> <p>(2) 中心市街地を貫く市道太田川駅前通り線は、西進及び東進の事業が計画されているが、それぞれの進捗状況と事業完了の見通しはどうか</p> <p>(3) 加木屋中部と名和駅西土地地区画整理事業では、それぞれ民間事業者の誘致のための大街区が予定されているが、現時点での参入見込みはどのような状況なのか</p> <p>(4) 三世帯同居又は近居する子育て世帯への補助について、具体的な内容及び国の省エネ住宅支援との関連はどうか。また、補助額は近隣市町と比べてどうか</p>	
<p>8 行政推進項目について</p>	<p>1 デジタル・トランスフォーメーション推進基本方針の策定から2年が経過し、情報システムの標準化・共通化やオンライン手続の導入など、市民サービス向上と業務の効率化をめざし、様々なデジタル化が進められているので、その取組状況を伺う</p>	<p>(1) 情報システムの標準化・共通化は、財源見込みを含め、システム業者との調整や業務プロセス見直し等、全体の進捗状況はどのようなか。また、国のマイナポータルを利用したオンライン申請や、ペーパーレス会議システムの利用状況等はどうか</p> <p>(2) 書かない窓口の導入によって、どのように改善が図られ、今後の導入予定はどうか。また、市公式LINEの登録者数や情報発信の実施状況と、4月からの配信情報等の見直しはどのような内容なのか</p>	
	<p>2 建築後45年目を迎える庁舎の設備等改修事業の継続費が予算計上されている。庁舎は、行政サービスや防災機能の拠点であり、経済的でバリアフリーや省エネルギー対策等が求められる施設である。そこで、整備の方針や事業内容等について伺う</p>	<p>(1) 老朽化が進む庁舎を改修整備する基本的な目標は何か。また、整備方針を「15年から20年使い続けた後に新庁舎へ移行する」としたのは、どのような理由と展望に基づくのか</p> <p>(2) 耐震化対策を始め、現状の課題に対し、どのような改修事業を行うのか。また、LED化等によるゼロカーボンへの貢献や、Wi-Fi整備等による市民サービスの向上では、どのような効果が期待されるのか</p>	

質 問 者	2 蔵 満 秀 規 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 令和6年度予算のうち市税収入が約290億円と過去最高となる一方、多額の財源の必要性から、財政は大変厳しい状況となっている。現在日本は、少子化による急激な人口減少時代を迎えており、また、65歳以上の人口は、約29%で過去最高となり、75歳以上の人口は2千万人を超え、高齢化率は更に高まる状況にある。また、小中学校の校舎等、公共施設の老朽化は進み、更には能登半島地震を教訓としつつ、南海トラフ地震を視野に震災対策も必須である中、建設費は日々高騰している。そのような取り巻く環境の中、既存の公共施設を維持しつつ、防災、福祉、カーボンニュートラルへの取組が最優先であると考え、新たな施設の建設や再開発の考え方について質す	(1) 令和6年度の予算規模が、令和5年度全会計総額比較で5.3%増の876億3,913万円となるが、その要因及び今後の見通しについて聞きたい (2) 過去最高の税収が見込まれるものの、一方で小中学校の校舎建て替え等、多額の財源が近い将来必要となり大変厳しい状況にあるが、主な要因及び今後の見通しについて聞きたい (3) 今後、少子高齢化や人口減少が急激に進む中、防災、福祉、カーボンニュートラルへの取組が最優先であり、モノから人への投資が求められると考えるが、新たな施設の建設や再開発の考え方について聞きたい	

<p>2 子ども・子育て分野について</p>	<p>1 花田市長就任以来、次代を担う子どもたちへの惜しみない投資として、日本一子育てしやすいまちの実現に向け、子育て世帯への手厚い施策を数多く展開しているが、公費負担の現状及び今後の見通しについて質す</p>	<p>(1) 子ども医療費助成制度については、令和4年度より通院分の高校生等までの拡大を行っているが、子ども医療費助成の実績及び今後の継続見通しについて聞きたい</p> <p>(2) 保育園や学校給食費について、非課税世帯はもとより、市が生活困窮世帯と判断した場合は公費負担としており、更には食材費高騰に伴う値上がり分も公費負担としているが、その実績及び今後の継続見通しについて聞きたい</p> <p>(3) 現在の第3子以降の保育料や副食費の無償化を、令和6年度より第2子まで拡大するとしているが、その予算規模及び内容について聞きたい</p>	
	<p>2 中学校部活動は、子どもたちの成長段階において、新たな才能の発掘や先輩・後輩・指導者との縦社会における人間関係等、子どもの学びの場として重要な役割を担ってきた日本の良き文化であると認識している。現在、教職員の過重労働に伴う働き方改革や少子化等の影響から、部活動の在り方について検討せざるを得ない事は理解するものの、子どもはもとより、子育て世帯や地域クラブから不安視する声があることから、その内容について質す</p>	<p>(1) 部活動は、地域連携・地域クラブ活動への移行が検討されているが、現在の検討内容及び移行を進める理由について聞きたい</p> <p>(2) 地域クラブ活動への移行によるメリット・デメリットについて聞きたい</p> <p>(3) 地域クラブへの移行は、家庭環境によっては、財政面や送迎面で参加できない子どもが発生するのではと危惧するが、市の助成についての検討状況を聞きたい</p> <p>(4) 現在でも地域クラブは、体育館やグラウンド等活動場所の定期的な確保が困難な状況に直面しており、中学校部活動の地域移行時には、中学校施設等をスポーツ部や文化部用に整備の上、使用料を減免すること等により、安定的かつ安価に地域クラブに参加できると考えるが、市の考えを聞きたい</p> <p>(5) スポーツ部や文化部それぞれの地域移行に関する今後のスケジュールを聞きたい</p>	
	<p>3 子ども家庭総合支援拠点及び子育て世代包括支援センターの機能を一体的にした、こども家庭センターを新たに設置し、妊産婦から児童の保健と福祉を一体的に支援できる体制とするが、その内容について質す</p>	<p>(1) 既存の子ども家庭総合支援拠点及び子育て世代包括支援センターの令和4年度の相談件数と主な相談内容及び、最近の傾向について聞きたい</p> <p>(2) 新設のこども家庭センターは、心理職の配置が予定され、相談体制の充実を図るとしているが、期待される効果について聞きたい</p>	

	<p>4 全国の小中学校における不登校児童生徒数は、コロナ禍を経て急増し、令和4年度は約30万人とされており、増加の一途を辿る状況にあること等から、文部科学省は、不登校を問題行動としてはならないと位置付けている。子どもたちの多様化や意思が尊重される時代へ移行しつつある現状を踏まえ、不登校の子どもたちのフリースクール等の学びの場、居場所づくりが全国的に広がってきていることから市の取組状況を質す</p>	<p>(1) 不登校児童生徒数は、全国的にコロナ禍を経て急増しているが、市の状況を聞きたい (2) 昭和の時代に確立された従来型の学校教育は、学校という教育現場を望まない子どもが増え続けている令和の今、教育方針・内容について検討すべきと考えるが、市の検討・改善内容を聞きたい (3) 全国の不登校児童生徒数30万人の内、相談・指導等を受けていない子どもたちが11万4千人とされている現状を鑑みると、不登校の子どもたちの学びの場づくりが喫緊の課題と考えるが、市の考え方及び取組内容について聞きたい (4) 現在、適応指導教室「ほっと東海」を2か所で運営しているが、その内容及び実績を聞きたい。また、令和6年度より、3か所目として平洲中学校に開設を予定しているが、その必要性について聞きたい</p>	
<p>3 環境・経済分野について</p>	<p>1 ゼロカーボンシティ宣言以降、市内各地で宅地開発が進められ、多くの農地が消滅しており、地球温暖化対策を危惧する声があることから、脱炭素社会の実現に向けた取組状況について質す</p>	<p>(1) 宅地開発による企業誘致等は、税収面や新たな雇用の創出、人口増加等、市の財政面で重要な取組であるが、一方で市の目指す脱炭素社会との乖離が危惧されることから、開発中の地域におけるゼロカーボンシティの実現に向けた考え方について聞きたい (2) 宅地開発により多くの企業が市内で開業するが、事業者へのカーボンニュートラルに関する支援策について聞きたい</p>	
	<p>2 市長が選挙公約としたキャッシュレス決済ポイント還元事業について、長期間に及んだコロナ禍や、物価高騰の影響を受ける市内事業者、市民から高評価を得ており、継続実施を望む声があるが、一方で国の交付金の動向や予算の課題もあることから、今後の実施に向けた考え方について質す</p>	<p>(1) 物価高騰の影響を受ける市内事業者、市民への支援策として、令和3年度より実施しているキャッシュレス決済ポイント還元事業の実績とその効果について聞きたい (2) 全ての市民がキャッシュレス決済を利用できる取組として、令和5年度よりキャッシュレス決済に対応したスマートフォン教室の実施や、市役所に支援員を配置していたが、その内容について聞きたい (3) 市内事業者、市民から高い評価を受けるキャッシュレス決済ポイント還元事業について、今後の方向性について聞きたい</p>	

	<p>3 市制55周年記念事業として開催する全国工場夜景サミットをはじめ、観光資源の魅力を発信していくとしているが、市内には聚楽園大仏をはじめ、美しく整備された各種公園もあり、SNSで話題となるようなアニメのモニュメントを製作する等、工夫一つで大きな観光資源になると考えることから、魅力発信の内容について質す</p>	<p>(1) 市制55周年記念事業として、全国工場夜景サミットが本市で開催されるが、その内容について聞きたい</p> <p>(2) 発売日に完売となる工場夜景クルーズについて、発着港の変更や市内企業の工場見学等、試行実施してきたが、今後の実施内容について聞きたい</p> <p>(3) インバウンドも視野に、市長がはじめた聚楽園大仏のライトアップのほか、大池公園の桜、加家緑道の河津桜、上野台公園のアジサイ園、元浜公園のバラ園等、市民から好評を得ている観光資源の魅力を今後、どのように市内外に発信していくのか聞きたい</p> <p>(4) 本市の魅力発信方法について、令和5年度に聚楽園公園もみじまつりに合わせたインスタグラムでのフォトコンテストを初めて実施したが、その結果や成果及び今後の各種イベント等での活用方法について聞きたい</p>	
<p>4 健康・生涯学習分野について</p>	<p>1 令和8年度のアジア競技大会について、本市開催予定のカバディ競技の受け入れ態勢や、アジア競技大会を契機とした、今後のスポーツ振興による、国際交流や地域の活性化に向けた取組について質す</p>	<p>(1) アジア競技大会におけるカバディ受け入れスケジュールを聞きたい</p> <p>(2) アジア競技大会の会場となる市民体育館の整備に着手しているが、その内容について聞きたい</p> <p>(3) 大会関係者及び市内外から多くの集客が見込まれるが、駐車場スペースの在り方について聞きたい</p> <p>(4) カバディ競技は、現状メジャーとは言い難い競技と考えることから、小中学校をはじめ市民が競技種目を理解する取組が必要と考えるが、その方策について聞きたい</p> <p>(5) 試合応援や選手との交流等による、スポーツ振興をとおして、国際交流や地域の活性化を図る等の取組について聞きたい</p>	

<p>5 安心安全・都市基盤分野について</p>	<p>1 循環バスについては、高齢者の運転免許証の返納や、移動ニーズの多様化により、多くの市民が関心を持っており、また、今後の高齢化社会を見据え、車等の移動手段を持たない市民が増えることも見込まれることから、市内交通ネットワークにおいて、生活に密着した乗り物である循環バスの利便性向上が望まれるが、現段階での市の検討状況について質す</p>	<p>(1) 現行ダイヤの運行ルート及び運行間隔を、最大120分から短縮を求める市民要望もあるが、現段階における市民ニーズや利用実態を把握した上での検討状況を聞きたい</p> <p>(2) トラック・バス・タクシー等の自動車運転者に向けた厚生労働省の「改善基準告示」の改正により、バス運転手の働き方が大きく変わる中、次期ダイヤ編成に関する影響について聞きたい</p> <p>(3) 交通空白地域を有する自治体では、デマンド交通を地域の交通手段として活用する事例もあるが、本市の交通ネットワークの中において、デマンド交通活用の検討状況について聞きたい</p> <p>(4) 循環バスの次期ダイヤ・ルート再編は10月からスタートとするとのことだが、今後の市内鉄道駅周辺等の整備状況に伴う、ダイヤ改正等の在り方について聞きたい</p>	
--------------------------	--	--	--

質 問 者	3 石 丸 喜久雄 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 第7次総合計画の本市の将来都市像を「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」としているが、将来都市像のイメージについて問う	(1) 将来都市像を「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」としているが、市民には、具体的にどのようなまちの姿をイメージしてもらえばよいか	
2 経済見通し・本市を取り巻く状況について	1 令和6年度の本市を取り巻く経済状況の見通しと市税収入の見込み、及び令和6年度予算編成にあたっての考え方について問う	(1) 令和6年度の本市を取り巻く経済状況の見通しと市税収入の見込みはどうか (2) 政府が目指す賃上げと経済成長の好循環に関して、本市が採った方針とその実現に向けた令和6年度予算編成はどのようなものであったか (3) 令和6年度の当初予算においては、市債や基金を有効に活用して過去最大規模の積極的な予算編成を行ったとのことだが、市長が特に重要視した事項とその理由はどうか	

<p>3 子ども・子育て分野について</p>	<p>1 市長が目指す「子育てするなら東海市、日本一子育てしやすいまち」に対する評価と今後の取組、及び市長が施政方針で示す「子ども・子育て分野」において、こども家庭センターの設置、不登校傾向等にある児童生徒に対する支援、学校体育館への空調機設置、及び中学校部活動の地域移行について問う</p>	<p>(1) 市長就任以来「子育てするなら東海市、日本一子育てしやすいまち」を目指して、様々な子育て支援の充実に努めてきたとのことだが、現在の段階で市長自身のめざすまちの姿に対する自己評価はどうか。また、めざすまちの姿に向けてさらなる充実が必要と感じる子育て支援の施策は何か</p> <p>(2) これまでの「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の機能を一体的にした「こども家庭センター」を設置するとのことだが、設置時期、設置場所及び新たな取組と期待される効果はどうか</p> <p>(3) 不登校傾向等の子どもたちが増加傾向にあることから新たに平洲中学校内に3か所目の「ほっと東海」を開設するとのことだが、不登校傾向等の現状と現在の「ほっと東海」2か所の運営状況はどうか。また、各学校に校内適応指導教室の開設に関する考えと具体的な取組はどうか</p> <p>(4) 令和6年度までに、市内6中学校すべての体育館への空調機設置が完了する予定だが、小学校体育館の夏場の使用状況及び避難所としての観点を踏まえた空調機の設置に対する考えはどうか</p> <p>(5) 令和7年9月からの休日の中学校部活動の地域移行に向けて準備を進めているとのことだが、その目的と期待される効果及び課題はどうか</p>	
<p>4 環境・経済分野について</p>	<p>1 市長が施政方針で示す「環境・経済分野」において、脱炭素社会の実現に向けた補助制度の創設、及び市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施について問う</p>	<p>(1) 脱炭素社会の実現に向けた取組の中で、市民の省エネ家電への買い替えに対する補助制度や事業者の省エネルギー診断及び省エネルギー設備への更新等費用に対する補助制度を開始するとのことだが、具体的な内容及び期待される効果はどうか。また、補助制度の周知、相談体制についての考えはどうか</p> <p>(2) 令和6年度も国の交付金を活用して、市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施するとのことだが、高齢者を含めQR決済の手順が理解できずに利用できないという方が少なくない。希望する全ての市民が利用できるようにするための対策はどうか</p>	

<p>5 地域づくり分野について</p>	<p>1 市長が施政方針で示す「地域づくり分野」において、コミュニティソーシャルワーカーの配置、コミュニティを中心とした地域運営体制づくり、及びパートナーシップ宣誓証明書の交付実績等について問う</p>	<p>(1) 様々な地域生活課題に対応し、だれもが身近な場所で困りごとの相談ができ、支援に繋がる体制を整備するため、コミュニティソーシャルワーカーを配置することだが、具体的な役割、人数、配置体制等の詳細はどうか</p> <p>(2) コミュニティを中心とした地域運営体制づくりの進捗状況と今後の取組及びスケジュールはどうか。また、本市ではコミュニティをまちづくりの重要なパートナーとして協働・共創のまちづくりを推進しているが、コミュニティの役割はますます大きくなることから、コミュニティの運営及び役員に対する支援の強化について、見解と今後の取組はどうか</p> <p>(3) 本市は、令和5年4月から「パートナーシップ宣誓制度」を導入したが、東海市パートナーシップ宣誓証明書の交付実績はどうか。また、令和6年4月からは「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」として制度を拡充するが、その目的と期待される効果はどうか</p>	
<p>6 健康・生涯学習分野について</p>	<p>1 市長が施政方針で示す「健康・生涯学習分野」において、带状疱疹ワクチン接種の助成拡充、創造の杜交流館の開館に向けて制作する短編映画、及びアジア競技大会で本市のカバディ種目の受け入れに向けた取組について問う</p>	<p>(1) 令和5年度から带状疱疹ワクチン接種の助成を開始したが、令和5年度の助成実績はどうか。また、令和6年度から不活化ワクチンの助成単価を1回あたり5,000円から1万円に引き上げることによる助成件数の見込みと期待される効果はどうか</p> <p>(2) 全国の映画館を始め創造の杜交流館でも上映する予定の東海市を撮影地にした短編映画2作品の制作が始まるとのことだが、これらの短編映画に関する詳細と期待される効果はどうか</p> <p>(3) 令和8年度には、愛知県を中心にアジア競技大会が開催され、本市ではカバディが開催されるとのことだが、カバディとはどのようなスポーツなのか。また、カバディの受け入れを通じて、大会の成功に向けた取組と期待される効果はどうか</p>	

<p>7 安心安全・都市基盤分野について</p>	<p>1 市長が施政方針で示す「安心安全・都市基盤分野」において、令和6年能登半島地震から得た教訓や新たな課題、それに対する対策や実践的な避難所運営訓練についての考えと取組等、また、太田川駅西土地区画整理事業における今後の展望、令和6年10月から予定されている循環バスのダイヤ・ルート改正及びデマンド交通の実証実験について問う</p>	<p>(1) 阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震と大震災を経験するたびに新たな課題が生まれるとのことだが、令和6年能登半島地震から得た教訓や新たな課題、それに対する取組はどうか</p> <p>(2) 令和6年能登半島地震で浮き彫りになったのが水道管の耐震化の必要性だが、本市の水道管の耐震適合率はどうか。また、能登半島地震から得た教訓を生かした今後の方針と取組はどうか</p> <p>(3) 大きな災害が発生するたびに繰り返し問題となっているのが避難所のトイレの問題だが、本市の災害時におけるトイレの対策はどのようになっているか</p> <p>(4) これからの避難所の運営に際しては、受付・管理の効率化を図るためマイナンバーカードを活用した体制づくりの取組が必要と考えるが、本市の考え方と取組はどうか</p> <p>(5) 防災・減災対策の充実とあるが、愛知県が令和6年度予算案の中で、「災害時に人とペットが共生できる愛知」を目指し、市町村のペット同行避難に向けた取組を促進・支援するとしているが、本市のペット同行避難に向けた考え方と取組はどうか</p> <p>(6) 太田川駅西土地区画整理事業では、市道元浜線の両側に新しいまちづくりが進む様子が一望できるようになり、市民の期待が膨らんでいるが、具体的な土地利用は、いつ頃どのようなまちの姿として現れてくるか</p> <p>(7) 令和6年10月からの循環バスのダイヤ・ルートの改正及びデマンド交通の実証実験に関する内容と期待される効果はどうか</p>	
--------------------------	---	--	--

質 問 者	4 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 市民一人ひとりの笑顔と希望があふれるまちづくりについて問う	(1) 「まちづくり指標」や「成果指標」の約7割が順調に改善されたとしているが、未達成だった「まちづくり指標」の主なものは何か。また、その理由をどう分析しているか (2) 未達成だった「まちづくり指標」の改善に向けて、今後どのように取り組んでいく考えか	
2 本市を取り巻く状況について	1 令和6年度の当初予算編成においては、将来を見据えた新しいまちづくりの取組を進め、東海市の魅力を高め、さらなる飛躍、発展を目指すとしているが、市の考えを問う	(1) 過去最大規模の積極的な予算編成を行ったとのことだが、将来を見据えた新しいまちづくりについて具体的にどのような施策に現れているか	
3 子ども・子育て分野について	1 保育園、学校給食の食材等の値上がり分の公費負担等、子育て世帯の負担を軽減し、より子育てしやすい環境整備に取り組んでいるとしているが、「子育てするなら東海市、日本一子育てしやすいまち」を目指す子育て支援の充実について問う	(1) 食材等の値上がり分の公費負担にとどまらず、学校給食の無償化に取り組み、より子育てしやすいまちを目指す考えはどのようか	
	2 組織改正により、「女性・子ども課」の分担事務の見直しの結果、DV相談等の窓口が他課の分担事務に変更になる等、相談者にとって窓口が分かりづらくなるほか、相談対応ノウハウの継承に問題を生じると考えるが、安心して相談できる窓口について問う	(1) DV相談等の窓口の周知、相談対応ノウハウの継承等を含め、安心して相談できる窓口の必要性について、どのように考えるか	

	3 夏の暑さ対策として、小中学校の特別教室への空調機の設置が進められているが、安心安全で快適に過ごすことができる学習環境の整備について問う	(1) 小学校については、音楽室への空調機設置を行うとあるが、中学校も含め、他の特別教室への設置の計画はどのようなか	
	4 校舎等の建替えに向けた基本計画を策定中の平洲小学校の建替えについて問う	(1) 新しい時代の学校にふさわしいモデルとなるよう計画していくとあるが、具体的にこれまでの校舎とどのような点を変えようと考えているか	
4 環境・経済分野について	1 東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の目標達成のため、「とうかい脱炭素チャレンジ2030」の脱炭素社会の実現に向けた取組について問う	(1) 市内店舗や事業者等と連携した啓発キャンペーンを実施しているとあるが、具体的にどのような啓発を考えているか	
	2 令和5年度は二度にわたり実施し、市内に大きな消費喚起、経済効果があったとされるキャッシュレス決済ポイント還元事業について問う	(1) 高齢者等のキャッシュレス決済の利用が難しいことが予想される市民に対する対策をどのように考えているか	
5 地域づくり分野について	1 地域福祉、防災及び防犯面において、地域に期待すべき役割は、ますます大きくなってきていると述べているが、コミュニティを中心とした地域運営体制づくりについて問う	(1) 町内会・自治会の加入率の低下や定年の延長等で役員の担い手不足が問題となる中で、加入率向上及び担い手の確保に対する支援をどのように考えているか	
	2 性的マイノリティ等に対する理解が広がり、お互いの人権を尊重しながら共生し、多様性が受け入れられる社会の実現について問う	(1) 令和6年度はパートナーシップ・ファミリーシップ制度として制度の拡充をしようとしているが、性の多様性への理解増進を図る方策をどのように考えているか	

6 健康・生涯学習分野について	1 令和7年5月の開館を目指して準備が進められ、横須賀の文化や歴史を映像等で紹介する横須賀文化発信コーナーも整備される「創造の杜交流館」について問う	(1) 横須賀のみならず市内全域についての歴史を紹介することで、本市の魅力を再発見し、東海市の良さを知る契機とする考えはどうか	
7 安心安全・都市基盤分野について	1 南海トラフ地震に備えた地域の強靱化について問う	(1) 令和6年1月に発生した能登半島地震の被災状況等からどのような教訓を得ているか。また、この地域でも発生が危惧されている南海トラフ地震に備えた地域の強靱化にどのように活かそうとしているか	
8 夢と希望が持てるまちづくりについて	1 現在、「住んでよかった、住みつづけたい」と実感できない市民が、将来に向かって夢と希望が持てるまちづくりについて問う	(1) 全ての市民が「住んでよかった、住みつづけたい」と実感してもらえるまちにするために、どのようにまちづくりを進めていくのか。また、次世代に引き継いでいくための具体的方策はどうか	